

ムシトリナデシコの面白い構造のはなし

ムシトリナデシコ（コマチソウとも）。
花のすぐ下の茎にべたついた部分があり
ここで虫を捕る。

→でも、**ただ取るだけ**で栄養分にする訳
ではない。Why?

通説

普通、蜂が蜜を吸うと、体についた花粉がおしべめしべに移って「受粉」するが、横合いから蜜を吸うため受粉に協力しない虫がいる（盗蜜と呼ばれる）。
ムシトリナデシコはこういう虫から他の花を守るために粘着部分を持つのでは、とされている。



この部分が
べたべたして
虫が貼りつく

学名：silene armeria

最近人気のピンクパンサーの仲間